

2015年10月27日

建築生産技術研究発表会を開催

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、第61回建築生産技術研究発表会を10月20日(火)に建築会館(東京都港区)にて開催しました。テレビ会議システムにて各支店の会議室や海外も含む拠点作業所とを合わせて24地点を中継で結び、会場参加者363名、支店参加者353名、拠点作業所参加者47名、合わせて763名の社員が参加しました。

この建築生産技術研究発表会は、建築工事統轄部が主催し、本社・支店各部署の施策や、作業所で実施している品質や生産性の向上に向けた取組みを、全国の作業所に水平展開することを目的として毎年開催しています。

今回の発表会では、「自ら考え行動して、強い現場をつくる」、「各支店の取組みと当社保有技術の活用」、「高度な施工技術への挑戦」、「新しい建築生産プロセスへの取組み」と題した各セッション毎に計17件のプレゼンテーションが行われました。さらに、この1年間で、生産性向上に積極的に取り組んで成果を上げた作業所を全国から選考して発表、表彰式が行われました。

開催にあたり社長からは「建築生産の強靱化は喫緊の課題である。徹底して議論し、推進してほしい」との挨拶に続き、実行してほしいこととして、「様々な経営的な数字に強くなること」、「問題に対しては過剰なほどに反応して真摯に対応すること」、「フットワークを軽く、すぐに行動すること」の3つを挙げて社員に伝達しました。

また、発表会に先立ち10月19日(月)に、現在施工中で高さ168mの超高層の事務所・ホテルとなる「大手町一丁目第3地区第一種市街地再開発事業新築工事」と、病院・薬局・専修学校・事務所・駐車場からなる複合施設である「立川都市軸A1南地区プロジェクト」の2つの作業所での現場見学会を開催して、合わせて72名が参加しました。先進の取組み事例を実際に自分の目で見て、技術・ノウハウを体感できる貴重な機会になりました。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 優秀作業所表彰式